

全国「道の駅」シンポジウムが下妻で開催

11月14日、総合体育館にて「第12回全国『道の駅』シンポジウム in 下妻」が開催されました。テーマは「道の駅」の更なる30年へ向けて ～第3ステージのあり方～で、約600人の参加者が集まり、地域の未来を考える貴重な機会となりました。

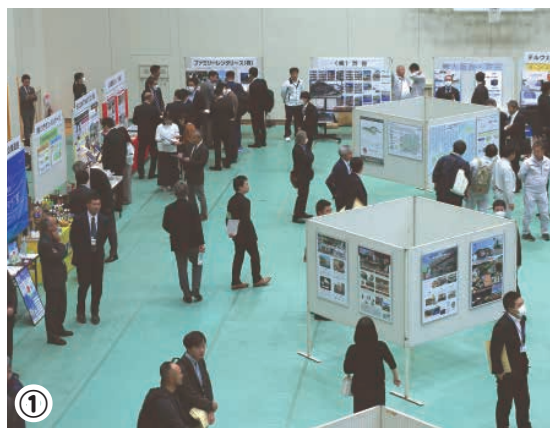
シンポジウムでは、国土交通省による講演や「道の駅」に関する対談・討論会が行われました。第3ステージで目指す姿として、「道の駅」が地方創生、観光促進、防災拠点として機能し、地域の活力を高め、新たな魅力を創出することが掲げられました。特に、道の駅「もてぎ」のリニューアルに関する対談や、まちぐるみの「道の駅」討論会では、各地域の取り組みを通じて具体的な展望が共有されました。

シンポジウムの締めくくりとして、菊池市長は「第3ステージでは「道の駅」を地方創生・観光の拠点としていくために、「まちぐるみ」で地域の魅力や価値を見出し、さらには「まちなか」を活性化させる拠点となるよう取り組んでいくことが重要です。シンポジウムで得た知見を活かし、地域活性化に向けて共に取り組んでいきましょう」と決意を表明しました。

また、会場ではパネル展や企業展示も開催され、参加者同士の交流が深まりました。同日、「道の駅 しもつま」では道の駅まつりが開催され、近隣の道の駅から地域の特産品が販売されました。今後も「道の駅」が地域の魅力を発信する拠点として、地域活性化の中心的な役割を果たすことが期待されます。

図 建設課

- ①企業展示
- ②まちぐるみ「道の駅」討論会
- ③菊池市長の決意表明
- ④道の駅まつりの様子



千代川地区ふれあいまつりが開催

11月2日、旧千代川庁舎南棟で「千代川地区ふれあいまつり」が開催されました。会場では、花と万人の会による特製「ポピー大福」が販売され、来場者は紫いもの餡と生クリームの優しい味わいに舌鼓を打ち、笑顔が広がりました。

さらに、地元産の新鮮な野菜や卵の販売も行われ、地域の魅力を再発見する機会となりました。そのほかにも、薬物乱用防止キャンペーンも実施され、啓発活動を通じて地域の安全意識が高まりました。

図 農業政策課



下妻市発着の関鉄ビール列車が初開催

10月26日、関鉄観光バス(株)の主催による、下妻駅を発着地とした「下妻市制70周年ビール列車」のイベントが開催されました。当日は、県内外からの乗客49名がグラス片手にローカル線に揺られながらにぎやかなひと時を過ごしました。

列車は下妻駅を出発し、守谷駅で折り返して再び下妻駅に戻る運行で、車内では、しもつまクラフトビールや市内飲食店による特製おつまみ弁当で参加者達をもてなしたり、ビンゴゲームの景品に下妻市産のアールスメロンを提供したりと、市制70周年を盛り上げました。

参加者からは「楽しかった」「また参加したい」との声が多く寄せられ、大盛況のうちに終了しました。



特製おつまみ弁当を紹介！



- 豚なん骨角煮風と小松菜
- 椎茸と海老のフライ
- キンピラと銀鱈の西京焼
- 下妻地鳥のレバーペーストとほうれん草のごま和え
- 下妻地鳥の焼鳥とつくね焼
- 三國クレソンと鴨のロース
- がんもとにんじんしりしり、さつま煮
- 玉子焼とオクラのナムル
- そぼろごはん



車内はハロウィン仕様



魅力あふれる民公連携イベント「シモツカレ！」

民公連携イベント「SANUMA LOOP (砂沼ループ)」の後継となる「シモツカレ！」という新しい民公連携カルチャーイベントが開催されました。このイベントは約1か月間にわたり、市内のさまざまな場所でイベントや店舗のキャンペーンを行い、まちに賑わいをもたらすことを目指すものです。

最終日の10月26日には上町公園で「シモツカレ!スペシャルディ」を開催しました。来場者は普段とは違う楽しい雰囲気の公園で、食べ物や音楽を楽しみながら、お店の方や他の来場者と交流を深めることができました。子どもたちも特別な雰囲気の中で遊具で遊び、思い出に残る一日となりました。

